# さと しょう がっ 里小蛤

所 在 地	〒 555-0025 西淀川区姫里2丁目8番24号					
電 話	06-6474-5555					
HPアドレス	http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e631362					
校 長 名	藪田 哲也					
児童数・学級数	420名・20学級(特別支援学級5)					
標 準 服	あり					



# 学校概要

本校は昭和17年に開校し、令和4年11月に創立80周年を迎えました。「子育ての町・姫里 | をスローガンに掲げ、子どもを 大切に思う献身的な地域で、色々な方々に支えられ発展してきました。

これからも姫里小学校は、地域とのかかわりを大切にしながら、「誰も置き去りにしない」という基本理念のもと、"可能 性を秘めた"ひめっ子の育成に、教職員一丸となって取り組んでいきます。

# グランドデザイン

# 姫里小学校グランドデザイン2025

グランドデザインとは、本校が、これから 取り組んでいく「教育活動の全体構想」の ことです。

# 社会総がかりでの 教育活動創造

#### 学校協議会

地域・保護者・西淀川区

関係諸機関との連携

#### 姫里地域活動協議会

ボランティア・ゲストティーチャー

大阪市・西淀川区の施策

民生委員・児童委員・保護司

幼・小・中との連携

姫島幼稚園ほか、各幼稚園や 保育所

姫島小学校・福小学校

西淀中学校

#### 大阪市教育振興基本計画



#### 学校教育目標

「学びを楽しみ やさしく たくましく 共に高め合う子どもの育成」

(徳)前向きで、やさしい心

○何事にもやる気をもって取り組む ○自分も人もを大切にし、互いに仲良く協力する 〈知〉確かな学力

○基礎的・基本的な知識・技能 ○主体的に考え、対話的な活動を通し、深い学びにつながる資質・能力

〈体〉健康で、たくましい体

○健康や体力への関心と習慣づけ ○積極的な体力づくり

協働参画による 全教職員による 学校づくり マネジメント体制 PDCAサイクル による学校力の 向上

研究教科 国語科

研究テーマ

自分の考えをもち、表現できる 児童の育成~書くことを通して

研究の推進

#### 教職員の資質向上

- 子どもに寄り添える教職員に
- ベテラン・中堅・若手の 絶妙な関係
- 'いじめ・体罰絶対悪"の 校風を築く
- コンプライアンスの徹底

豊かな心・学力向上・体力向上

#### 基本理念

誰も置き去りにしない

「笑顔で安心できる 居心地のいい場所」としての学校

学校運営に関する計画・自己評価								
目標 1	安心安全な 教育の推進	安全・安心な教育環境の実現 豊かな心の育成						
]標2	未来を切り拓く 学力・体力の向上	誰一人取り残さない学力の向上 健やかな体の育成						
目標3	学びを支える 教育環境の充実	教育DXの推進 人材の確保と育成としなやかな組織づくり 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進						

心の力 学力 体力

心・学力・体力の 相関関係から 立ち向かい・乗り越える力」 の育成を図る

◆学力とは:知識基盤社会における必須の力。言語活動の源 ◆体力とは:学力・生涯を支える力。学力と体力は表裏一体の関係 ◆心の力とは:学力と体力を方向づけ、コントロールする力 ◆「立ち向かい、乗り起える力」とは:「学力」「体力」「心の力」 を駆使しながら、遭遇する困難、試練を乗り越える力

# 学校運営に関する計画概要

【安全・安心な教育の推進】安全・安心な教育環境の実現、豊かな心の育成をめざす。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】誰一人取り残さない学力の向上、健やかな体の育成を進める。

【学びを支える教育環境の充実】教育DXの推進、教職員の働き方の工夫、よりよい学習環境の整備に取り組む。

上記の3つの視点をもとに読書活動の充実・キャリア教育、体力の増進、健康で安全な生活・食育、ICT教育などを進めます。

# ◆全国学力・学習状況調査 令和6年度の平均正答率(%)

国語	算数		
70	72		

#### (結果の概要)

国語は大阪市平均を4ポイント、全国平均を2.3ポイント上回った。 算数は大阪市平均を10ポイント、全国平均を8.6ポイント上回った。



(成果) ・基礎的・基本的な力を身につけることを中心に、習熟度別少人数授業など個に応じたきめ細やかな指導 に取り組んだ。

(課題)・主体的・対話的・深い学びの充実を目指した授業改善

# ◆全国体力・運動能力調査 令和6年度の調査結果

		握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	20 mシャトルラン (回)	50 m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ソフトボール投げ (m)	体力合計点 (点)
	男子	15.54	18.87	41.08	38.76	43.34	9.89	136.51	20.87	51.69
	女子	15.55	16.03	43.82	37.91	30.97	10.30	127.03	11.33	51.90

#### (結果の概要)

上記の結果、本校の5年生は、長座体前屈と反復横跳びで男女とも大阪市・全国平均を上回った。ソフトボール投げでは、男子は大阪市・全国平均を上回った。体力合計点では男子は大阪市平均を上回り、女子は大阪市平均・全国平均を下回る結果となった。



(成果) ・1 学期は体つくり運動、2 学期はかけ足運動、3 学期はなわとびのがんばり期間を決め、同じ運動に継続的に取り組んだ。

(課題) ・アンケートにより、1週間の総運動時間(体育の授業以外)が60分未満の児童が多いことが分かった。運動に取り組むことができるようさらなる手立てを考えていく。

# ◆子どもの疑問を大事にする

本校では、子どもの主体的・対話的な活動を重視して、深い学びを目指しています。そのため、学校生活で起きる様々な「なぜ?」という疑問に先生や友達と解決する方法、ICTを活用し学習者用端末で調べる方法など、子ども自らが主体的に調べて知識を深める活動をどの学習においても取り組んでいます。対話的な学びでは、ペアやグループで活発に意見交流を行い、活気ある授業を行っています。



また、デジタル教材だけでなく、本を使った活動も大切にする

ため学校図書館も活発に利用しています。授業中の各クラスの割り当てのときだけでなく、休み時間も多くの子どもたちが本を借りるため訪れます。図書室は知識の宝庫です。子どもたちにはどんどん文字に触れる機会を作っていきます。

#### ◆一人一人に応じた学びの支援

本校では、教職員だけでなく、特別支援教育サポーターが、特別支援学級に在籍している子どもが授業で困っているときなどに声かけをしたり補助をしたりして安心して教室でも過ごせる環境を作っています。学びサポーターは、授業中に学習のつまずきがある子どもに対して個別に支援してくれます。担任の先生は全体の指導をするからどうしても質問することを遠慮してしまいがちな子どもにとって学びサポーターは、とても安心できる存在です。そして、習熟別少人数度授業担当とともに個に応じた指導に力を入れ、日々取り組んでいます。

本校のホームページに具体的な内容を掲載しています。ぜひともご覧ください。

